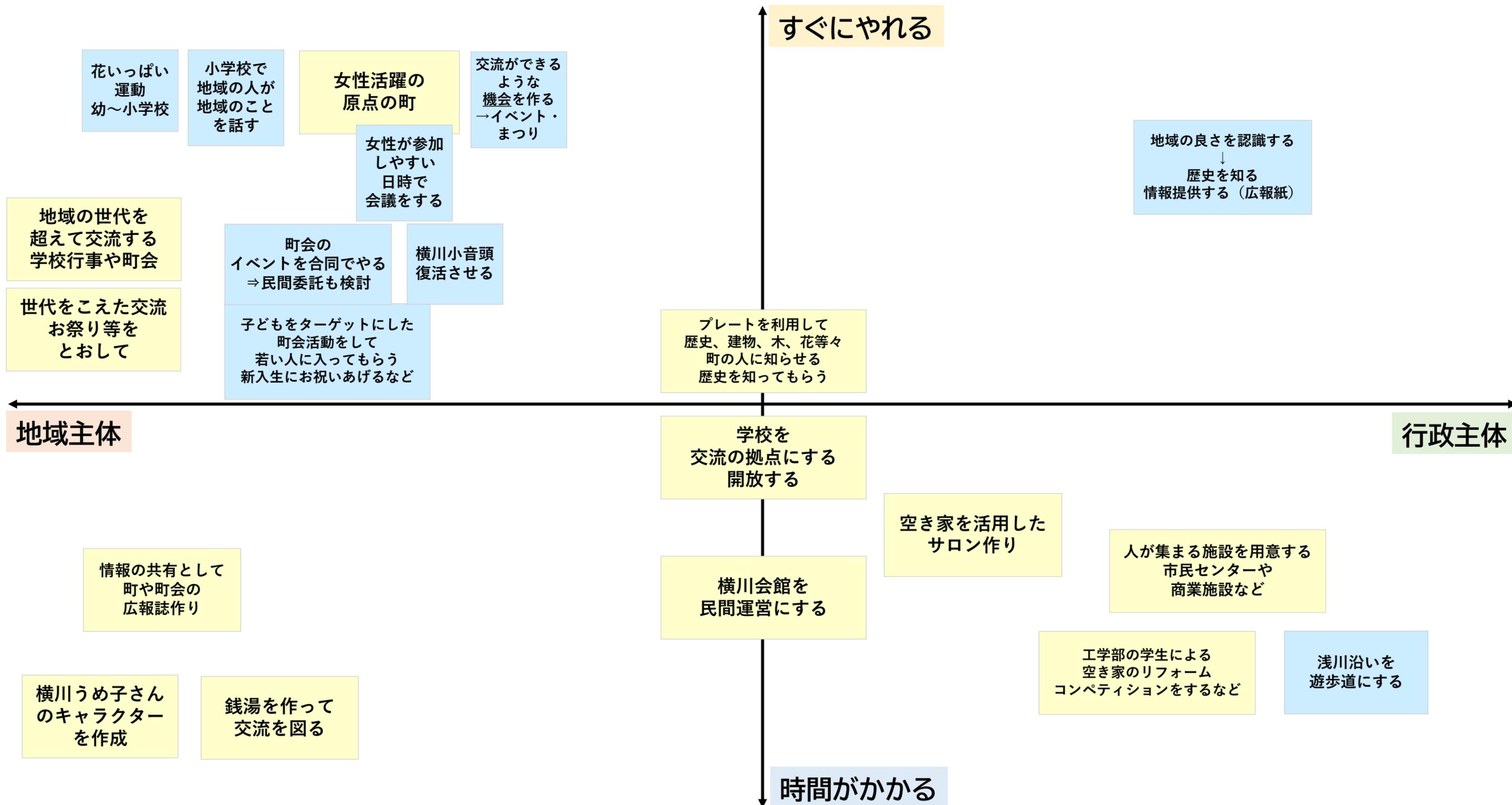


ありたい姿

住んで良かったまち 横川

想い

自然環境や歴史・文化を活かし、自発的に活動したり世代間交流や多様な交流ができる機会・場があることで、身近なつながりを感じ、だれもが愛着を持ち、住んでよかったと思うまちを目指す。



交流できる場所づくり

・定期的に集まりや交流ができる
・集まれる場所がある

すぐにできることとしてLINE (or FB) を活用する
情報発信の場として物理的な建物にこだわらない

地域への学校の開放

LINEによって卒業生、在校生、職員、地域の人がつながることが可能

学校と地域の交流の場を作る

友達と集まってお茶飲む場所を増やしたい
どんどんなくなっている

愛着を持つ

知らない人でもあいさつや会釈で笑顔が生まれます
住んでよかったと思える町づくりの原点です

自分の住んでこの町が大好きだと思えば、きっと素晴らしい町づくりが出来ると信じています

・自転車の子供見守りプレート
仲間意識のきっかけになるかも

緑・花がある

道路、広場、公園に花を植えよう！

花のある街

市役所から恩方まで河川敷を遊歩道に

歴史を知る伝える

横川うめ子さんのキャラクターを作成

町の歴史や残しておきたい出来事、伝え聞かせたいこと、高齢者が元気なうちに話ができる機会を作って下さい
また、町会ごとに競って広報誌作りを

横川小音頭をみんなで踊ろう

横川さん伝えるプレート

イベント

イベントや行事は多くの人達に協力・参加してもらい、若い人達や子供が楽しめる企画が出来たらいいですね

町会自治会の活動に学生の参加を

お店が欲しい人が集まる喫茶店

町会にはみんなで入ろう